

イチゴ就農へ意気込み

J A研修生 並河さんが県庁訪問

全国農業協同組合連合会
県本部(J A全農岐阜)の
「岐阜いちご新規就農者研
修所」(岐阜市曾我屋)で
研修を積み、イチゴ農家を
目指す羽島市の並河征之さ

ん(34)が、今月末の修了を前に県庁に足立葉子副知事を訪ね、生産したイチゴ「美濃娘」を手渡し、研修成果



足立葉子副知事にイチゴを手渡す並河征之さん(左)＝県庁

を報告した。

これまでに64人が研修を受講し、全員が県内で就農している。並河さんは18期生で、昨年4月から栽培技術や農業経営を学び、修了後は地元で就農予定。

面談はJ A全農岐阜の西村寿文県本部長らと臨み、並河さんは同期生がいない中で研修の苦勞を振り返り「岐阜のイチゴ農家に並河ありと言われるように頑張りたい」と語った。足立副知事は「並河さんの頑張りで次の就農者が出てくる」と期待した。

(青山和史)